

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現を求める

要 望 書

平成22年5月

泉州市・町関西国際空港対策協議会

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現を求める要望書

平素は、当協議会の諸活動の推進に格段のご高配とご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

関西国際空港の抜本的強化策については、現在、国の成長戦略会議において検討中と承知しておりますが、最終提言並びに、それを踏まえた国の政策方針確立にあたり、以下の点について、格別のご配慮をお願いします。

(関西国際空港の国際ハブ化とその強化)

国の成長戦略が目指しておられる「輝きのある日本」の実現、さらには地元泉州はじめ関西の自立的な発展のためには、首都圏空港と並ぶもう一つの国際ハブ空港が必要です。日本でもう一つの国際ハブ空港となり得るのは、日本唯一の完全24時間空港であり、かつ、海上空港として広大な施設展開用地を持つ関西国際空港において他にありません。そのため、国におかれては、関西国際空港を国際ハブ空港として明確に位置づけ、その強化を図るため、以下の諸点をはじめ、あらゆる手段を講じられることを強くお願いするものです。

(具体的要望事項)

1. 関西3空港のあり方

関西3空港の役割分担については、平成17年に示されているところであるが、昨年の行政刷新会議における事業仕分け及び平成22年度政府予算案において、「大阪国際（伊丹）空港との関係を含めた抜本的解決策を示すこと」との考えが示されたところです。このため、いわゆる伊丹空港の将来のあり方問題を先送りせず、国の責任において、関西国際空港建設に至るまでの経緯を踏まえるとともに、住宅密集地域における離発着の危険性や環境負荷が大きい大阪国際空港について将来の廃港を視野に入れた抜本的解決策を早期に示されたい。

2. 関西国際空港側の財務構造改善とアクセス改善

関西国際空港の国際競争力の向上を図るため、アジアの諸空港と対等に競争できる着陸料をはじめコスト構造の改善が不可欠です。このため、国の責任において、あらゆる方策を検討し、抜本的な財務構造の改善を図られたい。

また、長期的視野に立った抜本的なアクセス改善についても、早急に検討願いたい。

3. 関西国際空港2期事業の完全実施

関西国際空港の能力を最大限発揮するため、早期に2期事業の完全供用に向けた事業進捗を図られたい。ターミナル等必要な施設整備等が施されれば、将来、伊丹空港を廃止することとなっても、関西の航空需要を充分賄うことができるものと考えます。

泉州市・町関西国際空港対策協議会

会 長	和泉市長	辻	宏 康
副会長	高石市長	阪 口	伸 六
副会長	岬町長	田 代	堯
監 査	貝塚市長	藤 原	龍 男
委 員	堺市長	竹 山	修 身
委 員	泉大津市長	神 谷	昇
委 員	岸和田市長	野 口	聖
委 員	泉佐野市長	新田谷	修 司
委 員	泉南市長	向 井	通 彦
委 員	阪南市長	福 山	敏 博
委 員	忠岡町長	和 田	吉 衛
委 員	熊取町長	中 西	誠
委 員	田尻町長	金 田	通